

平成24年行政事業レビューシート（環境省）

事業名	放射性廃棄物処分調査等事業拠出金	担当部局	原子力規制委員会発足まで：経済産業省 原子力安全・保安院国際室 原子力規制委員会発足以降：原子力規制委員会	作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・平成28年度（見直し）	担当課室		室長 坂内俊洋
会計区分	エネルギー対策特別会計 電源開発促進勘定	施策名	5 生命・身体の安全 （ただし、原子力規制委員会設置前の施策名）	
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	特別会計に関する法律第85条第5項第3号 特別会計に関する法律施行令第51条第6項第13号	関係する計画、 通知等		
事業の目的	事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	放射性廃棄物の処理、処分方法の国際的に共通な基本的考え方の検討等、IAEAへ加盟国から通報される原子力施設等の事故・トラブル情報の共有の促進等を図り、我が国の安全規制に活用する。		
事業の概要	事業概要 （5行程度以内。別添可）	放射性廃棄物の適切な処理、処分の規制基準は我が国を始めとする国際社会共通の課題であることから、核燃料サイクルの全体を視野に入れた放射性廃棄物の処理、処分方法に関する調査、情報共有等を行い、国際的に共通な基本的考え方を検討する。また、放射性廃棄物処分施設等の原子力施設について、IAEAへ加盟国から通報される事故・トラブル情報の共有等を促進することにより、我が国の原子力安全規制に活用する。 ※原子力規制委員会の発足後、経済産業省から原子力規制委員会に業務が移管される予定。		
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他			

予算額・執行額 （単位：百万円）	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
		補正予算	43	43	38	36	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	-	-	-
	執行額	43	43	38	36	-	
	執行率（%）	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
成果目標及び成果実績 （アウトカム）	成果指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
活動指標及び活動実績 （アウトプット）	活動指標	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
	活動実績 （当初見込み）	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求
単位当たりコスト	（円／ ）		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	拠出金	36	0	25年度より、国際原子力機関原子力発電所等安全対策拠出金として統合。			
	計	36百万円	0百万円				

事業所管部局による点検				
	評価	項目		評価に関する説明
目的・状況・予算の	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。		本事業はIAEAの活動に対する加盟国としての支援であり、国が自ら実施する事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。		
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。		
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。		我が国として実質的な貢献が可能な分野を選定しており、その費用及び使途についても、IAEAと相談を行いながら事業実施に真に必要なものとしている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。		我が国のこれまでの経験及び知見に加え、事故で得られた教訓及び知見等を加盟各国と共有し、派遣している専門スタッフを通じて拠出している事業への各種提案を行うなど、事業の実効性が高まるよう努力している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。		
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。		
	－	※類似事業名とその所管部局・府省名		
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	廃棄物処理処分の問題等は今後我が国が継続して取り組んでいかなければいけない分野であり、他の先進諸国の知見を共有できる本活動には引き続き参画していくことが必要。そのため、我が国から I A E A に本事業の専門スタッフを派遣しており、また、 I A E A の廃棄物に関する会議に我が国から専門家を派遣するなど、積極的な参画を通じて活動状況を把握している。なお、 I A E A は会計について外部監査を受けている。			
	予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		他の事業と比較し、必要性等を勘案し、統合等も検討すること。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
		ご指摘を踏まえ、25年度からは国際原子力機関（ I A E A ）における効率的な運用を図るため、国際原子力機関原子力発電所等安全対策拠出金に統合した。		
補記 （過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）				
関連する過去のレビューシートの事業番号				
平成 2 2 年行政事業レビュー		713	平成 2 3 年行政事業レビュー	
			579	

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

経済産業省
38百万円

放射性廃棄物処分調査等事
業拠出金



【拠出金】
A.国際原子力機関
(IAEA)

放射性廃棄物の処分等に関す
る調査検討等、また、放射性
廃棄物処分施設等の原子力施
設についてIAEAへ加盟国
から通報される事故情報等の
共有活動に要した経費

費目・使途
 (「資金の流れ」において
 ブロックごとに最大の金額
 が支出されている者につい
 て記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように
 記載)

A. 国際原子力機関 (I A E A)			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
拠出金	放射性廃棄物の処分等に関する調査検討等、また、放射性廃棄物処分施設等の原子力施設について I A E A へ加盟国から通報される事故情報等の共有活動に要した経費	38			
計		38	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 国際原子力機関（IAEA）

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際原子力機関（IAEA）	放射性廃棄物の処分等に関する調査検討等、また、放射性廃棄物処分施設等の原子力施設についてIAEAへ加盟国から通報される事故情報等の共有活動に要した経費	38		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					